

たいし 議会 だより

194号



第1回臨時会

◆議会のうごき⑪

令和7年 9月定例会

◆定例会概要

◆7議員が町政を問う（一般質問）

◆議会のうごき⑫

p1～p4

p4

p5～p10

p11～p14

p14～p18

新しい議会構成決まる

令和7年10月22日から24日まで、第1回臨時会が招集されました。補正予算や条例改正など審議された後、閉会日の24日に、正副議長の選挙、常任委員会、議会運営委員会などの各委員の選任が行われました。



就任あいさつ



議長（第51代）

村井 浩二



副議長

斧田 秀明



監査委員

中村 直幸

町民の皆様には、平素より町政並びに町議会に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、10月24日の臨時会におきまして、議長、副議長、監査委員（留任）に就任いたしました。誠に光栄でありますとともに、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

近年地方自治を取り巻く環境は大きく変化しています。厳しい財政状況のもと、地域活力の維持、超高齢化社会への対応、公共交通対策など、町として取り組むべき課題は多岐にわたります。こうした中にあって、議会の果たす役割はますます重要になっていきます。

このような喫緊の対応が必要な様々な課題に対して、「チーム議会」として、活発な議論を交わすとともに、常に緊張感を持って、二元代表制の一翼を担っていくために、誠心誠意努めて参ります。

議員一同、それぞれが役割を果たしながら、議会としての機能を十分に發揮できるよう、力を合わせて参りますので、今後とも、皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

会派構成

「会派」とは、議会内に設置された議員の主義主張と同じくする同志的集合体のことをいいます。議長に対して届け出を提出し、認定されます。会派には、公費として政務活動費（一人あたり月額1万円）が交付され、政策の研究に使われます。

◎ 幹事長

◎ はまち知英

◎ 早瀬 和信

◎ 松井 謙昌

◎ 斧田 秀明

◎ 辻本ひろゆき

◎ 公明クラブ

◎ 自由民主党

◎ 日本共産党

◎ 岡野 秀子

◎ 森田 浩二

◎ 西田いく子

◎ 村井 浩二

常任委員会

総務まちづくり常任委員会

政策総務部（秘書政策課・総務財政課・税務課・住民人権課・自治防災課）、まちづくり推進部（観光産業課・地域整備課・環境農林課）、会計課、議会事務局に関する事項

委員長 辻本ひろゆき
副委員長 はまち知英
委員 中村 直幸
斧田 秀明
岡野 秀子
西田いく子
松井 謙昌
森田 忠彦
早瀬 和信

委員長 斧田 秀明
副委員長 松井 謙昌
委員 中村 直幸
岡野 秀子
西田いく子
辻本ひろゆき
森田 忠彦
早瀬 和信
はまち知英

予算常任委員会

一般会計の予算（補正予算も含む）に関する事項

委員長 中村 直幸
副委員長 早瀬 和信
委員 斧田 秀明
岡野 秀子
西田いく子
辻本ひろゆき
松井 謙昌
森田 忠彦
はまち知英

委員長 森田 忠彦
副委員長 岡野 秀子
委員 斧田 秀明
西田いく子
辻本ひろゆき
松井 謙昌
早瀬 和信
はまち知英

決算常任委員会

一般会計の決算に関する事項

議会運営委員会

議会の円滑な運営と、能率的な議事進行のために設置。
議長の諮問に応じ、会期の決定、議事日程、議案などの審議方法、議会関係例規の制定・改廃など議会の運営に関して協議

委員長 森田 忠彦
副委員長 中村 直幸
委員 西田いく子
辻本ひろゆき
早瀬 和信
はまち知英

派遣議員

南河内環境事業組合議会

辻本ひろゆき

大阪広域水道企業団議会

斧田 秀明

大阪南消防組合議会

西田いく子

特別委員会

広報特別委員会

委員長 西田いく子
副委員長 はまち知英
委員 中村 直幸
斧田 秀明
岡野 秀子
松井 謙昌
村井 浩二

観光拠点整備特別委員会

委員長 中村 直幸
副委員長 西田いく子
委員 斧田 秀明
岡野 秀子
辻本ひろゆき
松井 謙昌
森田 忠彦
早瀬 和信
はまち知英
村井 浩二

地域公共交通対策特別委員会

委員長 西田いく子
副委員長 辻本ひろゆき
委員 中村 直幸
斧田 秀明
岡野 秀子
松井 謙昌
森田 忠彦
早瀬 和信
はまち知英
村井 浩二

各種委員・協議会等委員

都計審・農振整促協
中村 直幸
斧田 秀明
村井 浩二
介護保険事業計画推進
西田いく子
人権尊重のまちづくり審議会
松井 謙昌
献血推進協議会
辻本ひろゆき
早瀬 和信
ゴルフ場環境保全協議会
森田 忠彦
早瀬 和信
人権協会
森田 忠彦

空家等対策協議会
早瀬 和信
交通事故をなくす運動推進協
辻本ひろゆき
松井 謙昌
早瀬 和信
はまち知英
地域公共交通会議
斧田 秀明
西田いく子
学校給食運営委員会
岡野 秀子
町民憲章改定案検討懇話会
斧田 秀明
森田 忠彦
早瀬 和信

民生委員推薦会
岡野 秀子
国民健康保険運営協議会
辻本ひろゆき
松井 謙昌
早瀬 和信
はまち知英
健康づくり推進会議
はまち知英
表彰審査会
中村 直幸
総合計画審議会
斧田 秀明
西田いく子
辻本ひろゆき
村井 浩二

補正予算

●一般会計（第5号）

補正額	補正後の総額
1225万8千円	73億3094万3千円

質 疑

問 乳児等通園支援試行的事業期間中の保育料の算出根拠、職員の配置、多目的ホールの空調設備の必要性は。

答 保育料は、1人1時間300円で算出。職員は利用がない場合でも駐在し、併設する「おひさまひろば」などの活動支援を兼ねる。多目的ホールは、教室につながる廊下を図面上、多目的ホールとしており、保護者の待機場所などで使用する予定だが、空調設備がないため、今回設置する。

【施行期日】令和8年2月1日

条 例

●乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件

【内容】この条例で定める基準は、明るくて、衛生的な環境において、素養があり、かつ、適切な訓練を受けた職員が、乳児等通園支援を利用している乳児又は幼児が、心身ともに健やかに育成されることをめざす。そこで条例の制定にあたっては、本町の実情に、国の基準と異なる内容を定める特別な事情や特性はないことから、国基準（施設の整備に関するもの。職員配置に関するもの。運営に関するもの）を太子町の基準とする内容とする。

質 疑

問 保育時間や食事提供、事業開始時期やアンケート調査の実施方法は。

答 保育時間は、試行的事業では、火・水曜日の午前9時30分から12時まで、保育士2名体制で実施予定。食事提供は、基準上必須ではない。お弁当の持参も可能だが、衛生管理やアレルギー対応などは基準に沿って実施する必要がある。事業開始は、令和8年1月広報で事業の内容などを告知し、預かりの募集をし、職員は2月1日付の採用なので、2月中旬から1か月間、本格実施の準備をする予定。アンケート調査は、令和8年2月時点での3歳未満児109名の保護者を対象に実施予定で、11月広報で周知する。



任命同意

●教育委員会委員の任命について同意を求める件

山崎 晃昭氏

【任期】令和7年11月21日から、令和11年11月20日まで

その他の

●中学校本館トイレ改修工事変更請負契約締結の件

【内容】

- ・請負金額（70万700円の増額）
変更前 6179万5800円
変更後 6249万6500円



太子町立中学校 トイレ改修

第1回臨時会 審議結果一覧表

件 名	審議結果	中 村 直 幸	斧 田 秀 明	岡 野 秀 子	西 田 いく 子	辻 本 ひ ろ ゆ き	松 井 謙 昌	村 井 浩 二	早 濱 和 信	はまち 知 英	森 田 忠 彦
中学校本館トイレ改修工事変更請負契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
7年度一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 — 議長

※可否同数の場合は、議長採決

全国市町村国際文化研究所（JIAM）での研修

後援：全国市議会議長会、全国町村議会議長会



Q.JIAMって？

A. 全国市町村国際文化研究所（JIAM）は、平成5年に開講し、地方自治を支える全国の市町村長・職員、市町村議会議員等に、最先端の高度・専門的な知識、スキルを提供する研修機関です。学び、交流し、地域での課題解決に結びつけようと、この間、JIAMの研修に参加し、「議会のうごき」で報告しています。

なごみの会 早瀬和信議員
やわらかい はまち知英議員

考える対話の場として捉えるという考え方です。分かりやすい言葉への置き換え、写真や図の活用、二次元コードなどデジタルとの組み合わせによって、より多くの方に届く紙面づくりを行う重要性が示されました。

また、議会と行政、そして住民が



はまち 知英議員

それぞれ協力し合うことで、町の課題解決や将来のまちづくりが大きく前進するという点も再認識しました。

これらの学びを今後の活動にしっかりと活かし、町の発展と暮らしやすさの向上につながる取り組みを進めてまいります。



早瀬 和信議員

令和6年度 決算認定

**総額102億
6年度一般会計1095万**

第3回定例会は、9月1日に招集され、22日までの22日間にわたって開かれました。今定例会では、一般会計はじめ各会計の決算認定、補正予算、条例改正、決議・請願などについて審議され、すべての議案を可決・認定・同意されました。



また、一般質問には、7人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。

一般会計

質疑

政策総務部関係

問 令和6年度の退職者が見込みより多いが、職員が退職する状況は現在も続いているのか。時間外勤務手当の増加の理由は、人員減が原因か、仕事量の増加が原因か。

答 今年度現時点での退職者はいない。職員数の増減はあるが、採用は随時行っており人員減が原因ではなく、行政需要の増加等に伴う、職員一人ひとりの負担量の多さが、時間外勤務が増えている要因と考えている。

健康福祉部関係

問 重層的支援体制整備事業での他機関との連携、これまでの成果は。

答 令和4年度から開始し、地域共生社会の実現に必要となる包括的な支援体制を整備する手段の1つとして創設。社会福祉協議会や町内の他機関、必要に応じて法的機関と連携し、支援を実施している。成果としては、専門職の配置が充実し、他機関との共同での取組が進んでいる。

教育委員会関係

問 町の地域計画策定において、住民の意見がどれだけ反映されているか、及び町が抱える農業への課題と課題に対する町の対策は。

答 ALT 1名は町立幼稚園及び両小学校。1名は町立中学校で勤務。ネイティブの英語に触れ、英語の楽しさを教えている。スクールソーシャルワーカーは、問題行動、いじめ、不登校の未然防止に取り組んでおり、福祉的な専門知識を持っているスクールソーシャルワーカーと連携し、問題行動、いじめ、不登校の背景など、アセスメント

る。話し合い活動の中で、農道が狭く老朽化が進んでいることや有害鳥獣の問題、農業従事者の高齢化による担い手不足等が課題として挙げられ、町が行っている対策は、農地を借りたい人・貸したい人のマッチングを、農地中間管理機構を活用しながら進めている。

**7582万7千円
8千円の黒字 (実質収支も448万140円の黒字)**

に重点を置き、担任からの指導及び家庭連絡で終わらせるのではなく、背景を検証し、チームで対応できるよう体制を整えている。法的な判断が必要になった場合、スクールロイヤーなど弁護士の意見を聴きながら、学校で対応方法を判断している。スクールカウンセラーは、保護者等からの相談で、学校に相談しにくい内容や、学校に相談したうえで専門的な対応が必要になった場合、活用している。



山田小学校運動会で

討論

【反対】のってこバス新規購入、空家バンク制度の改善、保育の無償化拡大、学校トイレ改修を着々と進めるなど評価できるが「安定した住民サービス・質の向上」には職員が健康で「住民福祉の増進」のために働く職場環境こそが大切。公共交通は、便数が足らず、料金も200円と高額で、乗りたくても乗れない状況。もっと、住民にとって便利な公共交通となることを求める。物価高騰で、住民のくらしは大変。府で統一された国民健康保険料は、全国一高い保険料。介護保険料も高額、上下水道料金も高い。「高すぎる国民健康保険料、介護保険料、上下水道料金を引き下げてほしい」これが、住民の声。これ以上の負担増は住民のくらしも命も脅かすことになる。町独自に減免制度を。『基礎自治機能の充実強化に関するシンポジウム』開催が、議員や職員にも直接知られず「広報たいし」に記載するだけでは、議会も住民も軽視している。「住民福祉の増進」、地方自治の本旨に沿った町政運営を求め、反対。

【賛成】歳入では、地方債及び基金を効率的に活用するなど、財政調整基金を取り崩すことなく、行財政運営に必要な財源の確保に、工夫と成果がみられる。歳出では、地域公共交通において、路線の再構築や、運行車両2台を新たに購入するなど、安定的な交通基盤の確保に取り組まれたほか、能登半島地震への応援職員派遣で得た経験を踏まえ、災害発生時の生活環境の改善と、衛生管理の必要性を考慮し、携帯トイレの備蓄を行うなど防災力の強化に努めている。がん治療に伴う医療用補正具の購入費用を助成し、治療と就労や社会参加の両立を図った。第2子目以降の保育料無償化を新たに開始するなど、子どもや子育て世帯への経済的、社会的支援の充実も図られている。将来の本町を見据えた事業を、着実に推進しながら公共施設老朽化対策に必要となる財源を基金に積み立てている。

持続可能で安定した、行財政基盤づくりのための自主財源確保と、住民だれもが安心して暮らせる、魅力あるまちづくりに努められることを要望して賛成。

令和6年度末 各会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	67億2888万5千円	67億1792万7千円	1095万8千円
国民健康保険特別会計	14億1261万円	13億9258万9千円	2002万1千円
山田財産区特別会計	615万4千円	518万5千円	96万9千円
春日財産区特別会計	81万7千円	71万5千円	10万2千円
介護保険特別会計	13億2523万8千円	13億1898万2千円	625万6千円
後期高齢者医療特別会計	3億576万4千円	2億9330万5千円	1245万9千円
下水道事業会計	収益的収支 3億3689万5千円	3億3554万6千円	134万9千円
合計	102億5088万6千円	102億7582万7千円	△2494万1千円
資本的収支 会計	1億3452万3千円	2億1157万8千円	△7705万5千円

※下水道事業会計の資本収支の差引△7705万5千円は、内部留保資金などにより補てんしています。

令和6年度末 積立金現在高

財政調整基金	16億5698万7千円
減債基金	1億6833万円
退職手当基金	1億9314万2千円
老人福祉基金	231万7千円
公共施設整備基金	10億6157万9千円
環境衛生等基金	2907万5千円
太子まちづくり「夢」基金	5291万円
たいし・ふれ愛福祉基金	3311万1千円
ふるさと太子応援基金	5億1311万5千円
森林環境譲与税	394万4千円
土地開発基金(現金)	1億96万6千円
合計	38億1547万6千円

令和6年度末 地方債現在高

公共事業等債	3427万4千円
一般単独事業債	10億6757万円
学校教育施設等整備事業債	4億4061万3千円
臨時財政対策債	19億6232万6千円
その他	2億9312万円
合計	37億9790万3千円

国民健康保険

質 疑

問 国民健康保険料の料率が大阪府で統一されたが、令和6年度の国民健康保険料の収納率が下がっているのは、国民健康保険料が高くなつたことによる滞納世帯の増加が原因か。統一されたことによる全体的な財政責任は、府なのか。府と町の役割分担はどうなつてゐるのか。

答 現時点では国民健康保険料が高くなつて払えないという声は届いていない。納付が困難な方へは、相談窓口を設けており、無理な徴収はせず、住民に大きな負担にならないよう徴収を行つてゐる。府内統一基準に係る財政運営に関する責任主体は府で、町は保険者として、保険給付を滞りなく給付し、保険料の割賦を行つてゐる。

討 論

【反対】府内で統一されたことにより、全国一高い保険料になり、府内の自治体で収納率が悪化し、赤字の団体も生まれている。国民健康保険制度は「社会保障」であり、住民の命綱。高すぎる国民健康保険料が払えず、医療にかかれず、命を脅かすものであつてはならない。自治体独自の法定外縁入解消の強要や大阪府が市町村独自の基金に口を出すことは地方財政法違反。基金はため込むためのものではない。保険料軽減や予防など住民のために活用を。国・府に対し、保険料を引き下げるこことを強く要望するよう求め、反対。

【賛成】一人あたりの医療費は、医療の高度化や薬価の高騰により、年々増加している。歳入の柱である保険料は、令和6年度から保険料率が府内統一基準となり、被保険者間の受益と負担を公平に行つてゐる。財政調整基金を活用し、40歳未満の若年者層の健康意識を高める取り組みとして「若年者健診」など本町独自の保健事業も実施した。今後も引き続き、医療費

の適正化はもとより、財政調整基金の適正かつ効果的な活用、公正な保険料徴収に努められるとともに被保険者の立場での運営に一層尽力することを要望し、賛成。

山田財産区

質 疑

問 山田財産区内での、不法投棄物の回収事例は。

答 財産区内で不法投棄があり、回収・処理をした。

春日財産区

質 疑

問 貢産区内のため池の、日常の維持管理は。

答 水利組合が日々の維持管理を行つてゐる。

介護保険

質 疑

問 訪問介護事業所の人材不足について、町独自の対策はあるか。介護相談員派遣事業での相談員数及び訪問箇所は。

答 町内で事業廃止した事業所はないが、今後も現場の声を聴きながら、人材確保や事業運営について行政としてできることを検討していく。相談員数は現在7名で、2人1組で町内の事業所を定期的に訪問している。

※意見を付けて賛成の討論がありました。



菊花展（左から2番目・議長賞）

後期高齢者医療

質 疑

問 後期高齢者医療保険料をこれ以上値上げしない努力はしているのか。

答 府後期高齢者広域連合が、変動要因などを加味し、余剰金などを活用し、低く抑えていると考えている。

討 論

【反対】年金は上がり、物価高騰が続く中、75歳以上の平均収入は過半数以上が、150万円未満。

2022年10月から75歳以上で一定の所得がある高齢者の医療費窓口負担は1割から2割になったうえに、年収が153万円を超える75歳以上の後期高齢者の医療保険料が大幅に引き上げられた。高齢者への負担増は後期高齢者医療保険医療増だけにとどまらず、介護保険料も上昇しており、本来は命を守る社会保障が高齢者の暮らしを圧迫し、命を脅かしている。世界に例を見ない高齢者いじめの制度は廃止し、お金の心配なく医療にかかることができる制度への転換を求め、反対。

【賛成】急速に進む高齢化社会において増大する医療費に対応し持続可能な社会保障制度を確立することを目的に設けられている。広域連合が主体となって運営され、少子高齢化が進展し、生産年齢である現役世代が減少する中、保険料の徴収や各種給付事務が適正に執行されている。

後期高齢者が安心して必要な医療を受けられるよう、給付が着実に行われているなど、後期高齢者医療制度の趣旨に則り、関係法令等に基づき事業を適切に運営している点は、評価できると考える。

今後も、大阪府後期高齢者医療広域連合との連携を一層密にし、医療費適正化への取組みを強化するなど、適切な制度の運営に努められることを要望し、賛成。



下水道事業

質 疑

問 下水道使用料の経費回収率は。

答 下水道事業は、維持管理費等含め、下水道使用料で運営するのが原則となっているので、経費回収率は100%が望ましいが、令和6年度は81.9%であった。収入源として下水道使用料の値上げを検討していく必要があるが、近隣の市町村の状況や、上昇率のバランス等を踏まえ、今後検討していきたい。

- 将来負担比率 なし
- ※早期健全化基準以上の判断比率はない。
- 資金不足比率

・下水道事業会計 なし
※経営健全化基準以上の公企業会計はない。



問 育児休業の取得には、男性・女性、非正規職員でも、役場内に夫婦で働いている場合は両人が取得できるのか。

答 男性・女性、非正規職員問わず取得でき、役場内に夫婦で働いている場合も、夫婦同時に取得ができる。

条例改正

質 疑

●町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件

【改正理由】公職選挙法施行令の一部改正を踏まえ、選挙運動に係るビラ及びポスター作成の公費負担の限度額を改めるもの。

【施行期日】公布の日から施行する。

●町職員の育児休業等に関する条例及び太子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件

【主な改正内容】

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が施行されること等を受け、以下の項目について所要の改正を行う。

①引用適用条文の変更（育児休業等条例）…引用している適用条文の変更が必要となったことから所要の改正を行う。

②育児時間の取得パターンの多様化（育児休業等条例）…部分休業制度において1年につき条例で定める時間を超えない範囲内で1日の勤務時間の全部又は一部について勤務しないことを選択できるようにする。

③仕事と育児の両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備…出生時両立支援制度の周知・意向確認や職員への仕事と育児の両立支援制度に関する早期の情報提供及び

職場環境の整備を規定し、職員が仕事と育児の両立に必要な制度を選択できるようにする。

【施行期日】令和7年10月1日（育児休業等条例の経過措置有り）

質 疑

選任同意

●監査委員の選任について同意を求める件

植木 堅二氏

【任期】令和7年9月21日から令和11年9月20日まで。

●固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

林 達也氏

【任期】令和7年9月29日から令和10年9月28日まで。

●春日財産区管理委員の選任について同意を求める件

土井 武久氏

石谷 淳二氏

松井 義久氏

角田 勝紀氏

仲村 公良氏

間 昌義氏

松井 秀樹氏

●こども家庭センター設置に伴う備品購入事業契約締結の件

【提案理由】（仮称）太子町こども家庭センター設置に伴う備品購入について「株式会社内田洋行大阪支店」と随意契約を締結するにあたり、地方自治法第96条第1項第8号及び太子町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるもの。



こども誰でも通園制度始まる（乳児等通園支援事業）
町立幼稚園1階に設置されます

報 告

質 疑

●6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件

【内容】

○健全化判断比率

- ・実質赤字比率 なし
- ・連結実質赤字比率 なし
- ・実質公債費比率 4.2%

7年度補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計(第4号)	6254万1千円	73億1868万5千円
国民健康保険(第1号)	3129万2千円	14億8578万円
介護保険(第1号)	766万3千円	14億7263万8千円
後期高齢者医療(第1号)	192万5千円	3億640万円

●一般会計(第4号)

【主な内容】物価高騰対応重点支援事業…642万2千円／公園トイレ棟整備工事請負費…2754万4千円など

質疑

問 聖和台第1公園設置予定のトイレの種類。設置工事は、下水道の工事を含むのか。今後も町内にトイレを増やすのか。町単独事業なのか。

答 男子トイレには大便器が1つ、小便器が2つ、女子トイレには便器が2つ。災害用のマンホールトイレ4か所で設計している。下水道は、工事予定。災害時、下水道の機能が損なわれた場合には、切り替えて災害用トイレとして使えるように設計している。今回、聖和台第1公園にトイレを設置するのは、避難所に指定されているに

もかかわらずトイレがないため。町内には、和みの広場・聖和台第3公園・葉室公園・畠薙師山公園にトイレを設置している。他の公園トイレ設置は、財源を考慮し、今後の課題として考えていきたい。国の交付金対応ではないが、緊急防災・減災事業債で計上している。

●国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

【主な内容】8年度子ども・子育て支援金制度施行に向けた電算機器・プログラム変更委託料…192万5千円

質疑

問 8年度から始まる子ども・子育て支援金制度の内容及び国からの補助率は。

答 国民健康保険料などを併せて

納付していただく、子ども・子育て支援制度が国で始まる。国から10分の10の補助が出ている。

●介護保険特別会計補正予算(第1号)

質疑

問 介護給付費準備基金繰入金について、補正額にマイナスがついている理由は。

答 国庫支出金の収入が見込まれるため、基金から繰り入れていた財源を、基金に戻すことにより、マイナス表示になった。

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【内容】8年度子ども・子育て支援金制度施行に向けた電算機器・プログラム変更委託料…192万5千円

質疑

問 子ども・子育て支援制度に係るシステム改修によって、職員の負担が増えることはあるのか。

答 システムを改修することにより、子ども・子育て支援金の負担割合の計算などが自動化されるので、職員の負担は軽くなると考える。

決議

請願

●中国製リチウム電池バス運行についての住民説明会の実施を求める請願

【請願者】露口 博司氏、山田 幸彦氏

【趣旨要旨】万博後に導入予定の中国製EVバスの運行経路は町報にはあるが、町内を走るバスの路線や便数の改善が求められる中、必要なのかとの声がある。問題なのは、議会や住民の頭越しに大阪維新が強引に推し進められており、住民説明会の実施を求める。

討論

【反対】第1に時期尚早であること。第2に説明責任の所在。決定権を持つ関係各機関が同席する枠組みが必要。第3に行政運営上の懸念がある。丁寧に周知を図ることを付け加え反対。

【賛成】一政党が「推し進めている」と住民の方が感じていることをどう考えるのか。「住民の方々の声をしっかり伺う」と町当局が言っているのに住民の願いを議会が否定するのもおかしな話。住民のための説明会を開くことは、当たり前のことであり、賛成。

第3回定例会 審議結果一覧表

件名	審議結果	中村直幸	斧田秀明	岡野秀子	西田いく子	辻本ひろゆき	松井謙昌	村井浩二	早瀬和信	はまち知英	森田忠彦
令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第6次太子町総合計画基本構想の策定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—
山田財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
春日財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—
下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の育児休業等に関する条例及び太子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
7年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
監査委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
春日財産区管理委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「大阪南部高速道路」整備の早期実現を求める決議案	可決	○	●	●	●	○	○	○	●	○	—
中国製リチウム電池バス運行についての住民説明会の実施を求める請願	採択	○	●	○	○	○	●	○	●	●	—
(仮称)こども家庭センター設置に伴う備品購入事業契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 — 議長 ※可否同数の場合は、議長採決



「こども誰でも通園制度」を保育環境の整備と充実に活かせ

日本共産党
岡野 秀子 議員

問 少子化対策を解消するための政策として2026年4月から「こども誰でも通園制度」がすべての市町村で始まる。子育て家庭の多くが孤立した育児の中で不安や悩みを抱えており、支援を求める声もある中、政府が創設した。ところがすでに試行的事業やモデル事業を進めている自治体や保育現場から「自治体の持ち出しが多くなり財政的に不安」「現場の負担が大きすぎる」「こどもにとって1ヶ月10時間の保育でこどもたちの育ちが保障されるのか」など不安の声が上がっている。町として本格実施に向けての対応・準備をどう進めるのか。

答 試行的事業実施自治体の取り組みを検証し、検討をすすめている。課題については、子ども家庭庁が主催する意見交換会や府を通して改善に向けた意見を伝え、実施方法に関しては、利用対象者約100名にニーズ調査を実施し、良質な保育環境の整備に取り組んで行く。

町立幼稚園に「こども誰でも通園制度」を、そして新たに「地域子育て支援センター」を設置し、「誰ひとり取り残さない」子育て支援体制を構築していく。

要望 住民説明会を開く、アンケートを取るなど住民の声、保育現場や関係者の声、保護者の要望もしっかりと聞き踏まえて、実施後も町に合った運営を進めるよう求め。またすべての子どもの成長を社会が支える施策、子育てのための財源は、国の責任で行うべきで、公的医療保険から上乗せ徴収すべきではない。また日本の保育士基準・待遇は、諸外国と比較すると低すぎる。安心・安全で豊かな育ちを保障していくことが第一課題である。今後も親の就労に関わらず国が責任を持つ保育施設に入れる体制を作ることを求めるよう要望する。



地域子育て支援センターが設置される町立幼稚園



町有地の売払いと非常勤職員等の募集・採用について

たいしにぎわう会
松井 謙昌 議員

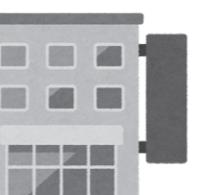
問 令和7年6月に行った町有地2筆（1.243m²、府道香芝太子線沿い）の購入者募集について、入札方式ではなく、公募型プロポーザル方式を採用した理由を問う。最低売却価格について不動産鑑定はしたのか。提案価格の低い者が優先交渉権者となつたが、評価基準の事業計画点の配点90点と提案価格点の配点20点はいかがなものか。

答 本件土地周辺は、工場立地を目的とする太子町基準（提案基準26-2）の指定区域である点を踏まえ、売払い金額のみで決定する一般的な入札ではなく、事業計画を総合的に評価し、最も優れ、実現可能な提案を行った応募者を優先交渉権者として選定する公募型プロポーザル方式を採用した。土地の価格は、大阪府不動産鑑定士協会加盟の不動産鑑定士の鑑定評価額を最低売却価格とした。公募型プロポーザル方式による土地売却では、価

格に対する評価は、複数の評価基準の一つの評価項目にとどまることが一般的。評価基準における配点は、提案事業の内容に比重を置いており、地域・経済振興や雇用創出が見込めるか、工場建設や事業収益による固定資産税及び法人住民税の増収により、将来にわたり安定した税収確保等の効果が見込めるなどが評価のポイントとなっている。

問 必要な非常勤職員は確保できているのか。過去に採用した非常勤職員について、本人の了解のもと近隣市町村を含めた人材バンク登録のようなものを作つはどうか。また正職員の採用はどうか。

答 令和7年度に新たに雇用する会計年度任用職員は確保できている。雇用にかかる登録は、本町単独のみで、近隣市町村と合同での人材登録制度は設けていないが、今後の課題として情報交換等を行っていきたい。正職員は令和5年度より本町、河南町、千早赤阪村が合同で採用試験を実施し、令和7年度までは予定人数を確保している。



山本家住宅（叡福寺前）の有効活用の進捗状況について

自由民主党
中村 直幸 議員

問 山本家住宅の有効活用に向けた調査を進めるとの答弁があったが①現状・具体的な成果②「NIPPONIA事業」の進展状況・事業化に向けた今後の見通し③山本家住宅を第1歩に地域資源活用や町全体のまちづくりへどのように展開していくのか。

答 ①②丹波篠山市や伊賀市での古民家活用事例の現地調査等を行い、地域資源をまちづくりに活用する手法や宿泊や飲食等を組み合わせた古民家施設の活用イメージを組織全体で共有できたが、現時点において直ちに事業化を進める段階ではないと判断された。③空き家対策等、地域活性化施策や観光振興策と連携を図りながら事業展開を進める必要があり、NIPPONIA事業での事業展開や他の民間事業者による利活用も視野に入れ、全庁的な取り組みであるとの認識に基づき、町全体の活性化に向けて検討を進めていきたい。

夏季の地震発生時における避難所の暑さ対策及び非常用電源の確保について

問 災害時、エアコンの有無、電源確保は命に直結する課題。①指定避難所エアコン設置率、施設への整備計画②停電発生時にエアコンや照明、非常用発電機や蓄電池の整備状況③高齢者や乳幼児などの熱中症リスクの高い避難者への対応、「クーリングシェルター」の活用を。

答 ①指定避難所は12カ所。令和8年度、小中学校体育館3施設に空調を設備すれば全避難所設置となる。②発電機やポータブル電源等を配備している。重要施設に優先的に電力供給を回復するため電力会社との連携に努める。③臨時の休憩所等を設けることや「クーリングシェルター」として「緑の回廊」と生涯学習センター2階「交流室」を指定している。



は太子町の財産。許可権者である奈良県や香芝市で適切な対応が行われるよう注視したい。



二上山山頂から

子ども医療費の無料化を

日本共産党
西田 いく子 議員

問 2025年4月から、府内で初めて高槻市が子どもの医療費完全無料化を実現。町が、子ども医療費を完全無料にするために必要額は、子ども医療費無償化の実施を。

答 昨年1月から12月の実績では、約876万円。府に大阪府町村長会を通じて、対象年齢を18歳までの引き上げと所得制限の撤廃を要望している。

二上山の景観を守れ

問 二上山が「三上山になっている！」との声がある。香芝市では、どんな開発がされているのか。二上山の景観保全、環境保全に対する町としての考えは。

答 香芝市では下流河川の水質検査や大気汚染検査も実施し、環境省の定める基準を満たしているから問題が無いと市議会で報告している。奈良県域だが、二上山は本町にとって大切なランドマークであり、その美しい環境

は太上山の財産。許可権者である奈良県や香芝市で適切な対応が行われるよう注視したい。

問 『中国製リチウム電池バス運行についての住民説明会の実施を求める請願』が出された。『南河内基礎自治機能充実強化協議会』や『道の駅の検討』など府が主導している。町の主役は住民。「住民福祉の増進」が自治体に求められている。太子町を守り発展させるために、住民の意見を聞き、反映させる考えがあるのか。

答 府の専門的な知見や広域的な視点での支援を得ながら取り組むことは肝要。何よりもまず、住民の暮らしを第一に考え、住民の代表である議会や住民の方々の声、また地域の実情を踏まえ、本町が自ら判断し責任をもつて施策の推進に取り組むことが大切。

問 府は、市町村の困りごとに応じることに専念すべき。「バスなど公共交通機関の便利さ向上への取り組み」「身近で必要な医療サービスが受けられる環境整備」等の声に向き合い、住民に満足してもらえる町政運営を。



高齢社会が抱える 今日的課題について しなが会 斧田 秀明 議員

問 超高齢社会を迎えるにあたり、高齢者等の日常生活を支える行政サービスとしてのごみ収集支援について、太子町の今後の対応は？

答 太子町ではゴミの収集を「ステーション方式」で実施しており、このところ高齢者等や福祉関係者から所定のごみステーションへのごみ出し等の意見がある。千早赤阪村の取組例では、ゴミ出し困難な方に対し、委託業者が週1回個別にゴミを収集する「ふれあい収集」を今年度から開始したが、協力がある方がいる場合は対象外であり、9月現在で8件の申込みである。収集及び玄関までの運び出しが困難な方に対しては、対応ができない状況である。本町では、個別収集は、高齢者等の負担軽減、環境・福祉両部門のどちらか一方だけでなく、双方が協力することが必要と考えており、今年度にも両部門合同で会議体を立ち上げ、現状

確認や各部局の持つ課題を整理し、合理的かつ持続可能なゴミ出しの方法について、検討を進める。

問 民生委員・児童委員（以下：民生委員と呼ぶ）の役割とは、一斉改選が年末に行われるが、現在の太子町の状況はどうなっている。

答 民生委員は、主な役割は見守りと相談機能、二つ目は生活支援と福祉制度の案内・連携、三つ目は地域の安全・安心を高める取り組み。防犯・防災、子どもの見守り活動、育児・教育環境の充実に向けた活動を通じて、誰もが住み良い社会の実現を目指す。そんな中、先日開催されました民生委員推薦会により、本町は現在より1名増の32名、定員全員の推薦に目途が立ち、その充足率は100%を維持できる見通しである。候補者の方ならびに推薦にあたりご協力いただいた多数の皆さんに深く感謝するとともに今後も地域共生社会の実現に向け、地域の声を聴きながら、福祉基盤を強化する施策を進める。



人間と動物の共存 公明クラブ 辻本 ひろゆき 議員

問 地域猫活動（さくらねこ行政枠）についての現状は。

答 本町として、町内の野良猫の繁殖抑制とともに、地域における猫との共生環境の整備を進めるため、さくら猫無料不妊手術事業に参加登録し、令和3年12月の開始から令和5年度末まで、総数104頭の不妊手術が、延べ6つのボランティア団体の協力により行われた。令和6年度においては、残念ながら手術の実施に至らなかった。これは、協力動物病院が事業協力辞退されることになったことと、本町の保護猫活動実施団体の一部活動休止されたことが要因であると考える。



問 今後のボランティア事業での支援策は。

答 本町では、さくら猫無料不妊手術事業に関わっている団体への支援として、令和6年10月より捕獲器の無料

貸し出しを実施し、3件の実績があった。地域猫活動に対する経済的支援は実施していないが、情報提供には努めている。人と動物が共生できるまちづくりを進めるため、住民の皆様の地域猫活動に対する理解がさらに深まるよう、広報等を通じて定期的な呼びかけを継続する。

帯状疱疹について

問 年齢制限でワクチン接種ができない方々への改善策は。

答 現在、定期接種の対象外となる50歳以上64歳以下の方で、ワクチン接種を希望される方は、全額個人負担にてワクチン接種をお願いしている状況。近年50歳代からの罹患率が増加しており、予防の必要性は認識しているが、まずは定期接種対象者への推奨を強化し、接種率向上に努めたい。

問 ワクチン接種費用の補助は出来ないのか。

答 ワクチン接種が、一般的に帯状疱疹の発症予防効果があるとされているが、一定のリスクも考慮する必要があり、国の専門委員会で検討が行われ、定期接種対象者を65歳とした。対象者への助成は、今後も富田林医師会と協議を重ねながら、近隣市町村の動向を注視していく。



町内で開催されている住民参加型イベントの今後について なごみの会 早瀬 和信 議員

問 太子町の住民参加型イベントとして「聖燈会」「商工会太子町支部夏祭り」「灯路祭り」等があるが、実施主体と参加人数の実績について問う。

答 太子聖燈会は、聖徳太子の和の精神を尊び和のあかりを燈することで魅力あるまちづくりに寄与すること目的として、各地区長をはじめ地域住民を中心とした太子聖燈会の会が主催となり、本年度は4月26日に開催され約7500人の来場者数だった。富田林商工会太子町支部夏祭りは、盆踊りや夜店の出店、地域団体によるパフォーマンス等納涼と共にぎわいづくりを目的として、町内の商工業者の皆様が主催となり、本年度は8月2日に開催され約3500人の来場者数だった。竹内街道灯路祭りは竹内街道の歴史や文化を振り返りその良さを再確認し魅力を創造すること目的とし、区長会をはじめ沿道の町会やまちづくりに関わる多くの団体が参加する竹内街道に

ぎわいづくり協議会が主催となり、昨年度は令和6年10月13日に開催され約5000人の来場者数だった。

問 来年町制70周年を迎えるにあたり、太子町の魅力を伝える為のイベントへの町の認識と今後の関わり方にについて問う。

答 住民手づくりのイベントは地域への愛着をぐくみ、にぎわいを創出する貴重な機会であると同時に、コミュニティの活性化や世代間交流の重要なツールである。町制施行70周年の記念の年を迎える令和8年度が、太子町の魅力をさらにPRできる好機であると認識し、記念式典や太子町観光協会や各種団体との協働による様々な住民参加型イベントを開催できればと考える。



太子聖燈会



議会改革協議会

7月31日『議会改革協議会』を開催し、「視察研修について」「会派控え室について」「広報たいし掲載基準について」話し合いました。視察は日帰りが可能な範囲で和歌山県（海南市）に。一人会派が増え、庁舎の構造上、会派ごとの部屋の確保は難しいが机などのスペースを確保することになりました。広報たいし掲載は、議員の立場を踏まえて対応することになりました。



3町村議員勢揃い 大阪南消防組合（柏羽藤消防署）にて

議員セミナー



会場正面

8月22日、シティプラザ大阪にて『議員セミナー』が開催され、地域防災の取り組みや行政間連携の重要性について幅広く学びました。平時からの体制整備や情報共有のあり方、災害発生時に円滑に支援を行うための枠組みづくりなど、実践的な視点が多く示されました。印象的だったのは、奈良県での消防広域化の事例で、被害の少ない地域から迅速に応援部隊を派遣できる仕組みが紹介され、広域連携がもたらす効果を改めて実感しました。住民の安心・安全を守るために欠かせないものであり、太子町の防災体制を見直す上でも大変参考になる内容でした。

町村議会広報研修会

8月28日、渋谷公会堂で開催された『令和7年度町村議会広報研修会』に参加しました。

研修では、題材選びや取材・編集の工夫、スマートフォンを活用した動画撮影・編集の基本について学びました。目的に沿った質問の準備や、会話の引き出し方など、紙面に温かみと親しみを添える工夫について多くのヒントを得ることができました。

また、動画撮影では、光の当たり方による印象の違いや、自然に見える構図づくり、目線の使い方、撮影時の注意点など、情報をより効果的に伝えるためのポイントを具体的に学び、広報発信の可能性を実感しました。

この研修を通じて、町の取り組みや議会活動をより身近で分かりやすく届けるための知識と知見が広がりました。今後は、ニーズに合った広報を積極的に取り入れ、住民の皆さんにとって親しみやすく、読まれる広報紙づくりに活かしてまいります。



全国から参加。会場内で撮影

地域公共交通対策特別委員会

10月10日『地域公共交通対策特別委員会』を開催しました。

9月議会で「中国製リチウム電池バス運行についての住民説明会の実施を求める請願」が提出され、賛成多数で採択されました。

9月5日には、EV販売会社「EVモーターズ・ジャパン」が納めたEVバスで多数の不具合が報告されていることから「総点検」を国交省が命じたという報道も在り「安全に走行できるのか」という不安も広がっています。

住民の安全・安心を願う私たち町議会議員として請願にある「住民説明会を開いてほしい」という願いをどう進めていけば良いのかを議論する必要があります。

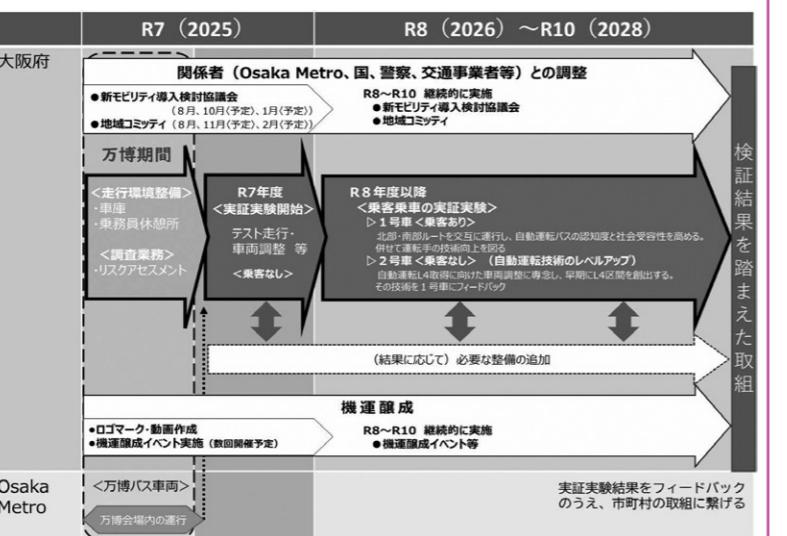
ただ『広報たいし』にも書かれているとおり、主体は大阪府です。町長、副町長、担当部課から、現状がどうなっているのか、大阪府や大阪メトロがどのように進めようとしているのか、わかる範囲での説明を求めました（「全体スケジュールを示した表）。

説明会を開く件については「何らかの形で説明をしていく」との答弁でした。

「何より安全が確保されなければならない」。これは、理事者側も議会側も共通の思いです。

安全性の確保、住民、議会への十分な説明、広報を求めています。

【追記】大阪メトロは10月24日、自動運転バスの実証実験を延期すると発表しました。



南河内環境事業組合議会研修

11月6、7日の2日で南河内環境事業組合派遣議員の研修へ参加しました。

1日目は、神戸市「港島クリーンセンター」を視察。ごみ処理だけでなく、環境への配慮とエネルギー効率を追及した最新鋭の施設です。高効率ごみ発電、発電した電力を使って自立稼働できるシステムを備えた、災害に強い施設です。

2日目は「香川県バイオマス資源化センターみよよ」に。「トンネルコンポスト方式」という微生物の力を利用した処理方法を採用し、焼却処理を行わないため、二酸化炭素排出量を大幅削減でき、地球温暖化防止に貢献しています。

今回、学んだことを参考に、南河内環境事業のより良い発展へ尽力してまいります。



大阪南消防組合議会研修

8月4、5日の2日間、『大阪南消防組合議会研修』で、2024年1月1日に発生したマグニチュード7.6、最大震度7の能登半島地震の被災地、石川県を訪問しました。

1日目は、金沢市消防局で研修し、特殊車両の見学を行いました。

2日目は、輪島市の奥能登広域圏事務組合消防本部へ。輪島市街の被災状況、復興途上の現場を視察しました。自衛隊などの救援が届かない中、輪島朝市の火災では、地元消防職員で決断をせまられ、苦しい思いをしたことなどお聞きしました。

いつ起きてもおかしくない災害に備えることや消防職員の存在の大切さを感じました。



金沢市消防局にて

戦没者追悼式

9月21日、『戦没者追悼式』がしめやかに行われ、戦没者の冥福を祈るとともに、恒久平和を誓いました。戦後80年が過ぎました。節目の年でもあり、今回をもって戦没者を悼む追悼式は幕を下ろします。



竹内街道灯路祭り

10月25日、雨が心配されていましたが『竹内街道灯路祭り』が開催され、点灯式に参加しました。



大阪広域水道企業団議会研修

11月17日、大阪広域水道企業団議会 清水施設調査で、村野浄水場を視察しました。

村野浄水場は、大阪広域水道企業団が府内42市町村に供給している水道水の約8割を担う浄水場です。わが国最大の施設能力を持ち、枚方市にある磯島取水場で取り入れた淀川の水をオゾンと粒状活性炭を使って高度浄水処理し、日夜安全でおいしい水道水を府内全域に届けています。

くらしの水ができるまでの工程や、安全で良質な水づくり、高度浄水処理（オゾン処理・粒状活性炭処理）の仕組みについての案内と説明がありました。

見学内容は、
①淀川から汲み入れた原水の汚れを取り除く→②取り除いた汚れ（泥）を運び出す→③さらに水に残っている細かい濁りを取り除く→④オゾンの強い酸化力でカビ臭などの有機物を酸化・分解→⑤最後に、塩素剤で消毒のうえ、pH調整をし、出来上がった水道水を貯めた浄水池までの工程を見学しました。



和歌山県湯浅町・海南市に行政視察

11月12日、和歌山県湯浅町と海南市の『道の駅海南サクアス』で行政視察を行いました。

【湯浅町】

和歌山県有田郡湯浅町を訪問し、醤油づくりで栄えた歴史的な町並みを視察しました。湯浅町は約千年の歴史を持ち、最盛期には九十軒を超える醤油蔵が立ち並んでいたと言われています。現在は一軒のみが営みを続け、日本遺産・重要伝統的建造物群保存地区として、国の補助を受けながら建物の保存・修理が進められています。屋根や玄関の改修には工事費の8割が補助され、外観は当時の姿を守りつつ、内部は住民ニーズに合わせて活用できる点が印象的でした。

また、路地の両脇に設けられた溝や漆喰塗りの白壁など、防火と生活の知恵にもとづく町並みを歩きながら実感しました。当時の醤油製造の工程、古い蔵の活用、

空き家対策など多くの学びも得られました。人口減少の中でも、宿泊施設や資料館として建物を活かし、景観保全と地域経済の両立を図る湯浅町の取組は、本町の歴史的資源の活用や中心市街地の将来像を考えるうえで大きな示唆となりました。



ガイドの半邊さんから醤油の町の歴史を伺いました



【海南市】

和歌山県海南市を訪問し、道の駅「海南サクアス」と災害ボランティアセンターの取り組みについて学びました。今回海南市を視察先に選定したのは、同駅が「防災道の駅」に認定されており、防災機能と地域拠点機能を両立した先進的事例であるためです。道の駅は平成30年度から検討が始まり、国と市が一体で整備を進め、令和5年9月2日にオープンしました。総事業費は26億円（国補助9億円・市17億円）にのぼり、構想から完成まで6年を要したとの説明がありました。

施設には物産販売や子育て支援機能のほか、津波避難場所、発電設備、備蓄倉庫を備え、平常時にぎわいと災害時の地域拠点という二つの役割を担っています。令和5年6月の豪雨災害では、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設し復旧支援に当たりましたが、当初はニーズと人員の調整が難しく、遠方から駆け付けていただいたボランティアの割振りがうまくいかない事例もあったと伺いました。

平時の備え、若い世代を含めたボランティア育成、地域で支え合う体制づくりの重要性を再確認する視察となりました。



研修会場にて。海南市議会 宮本議長あいさつ

おおさか「山の日」

11月8日、秋晴れの中『おおさか「山の日』クリーンハイキングで二上山を清掃しました。



全員協議会

9月1日の全員協議会におきまして、陳情・要望書の取り扱いについて審議しました。
採決結果をお知らせします。

件 名	提 出 者 (団体)	中 村 直 幸	斧 田 秀 明	岡 野 秀 子	西 田 い く 子	辻 本 ひ ろ ゆ き	松 井 謙 昌	村 井 浩 二	早 瀬 和 信	は ま ち 知 英	森 田 忠 彦
政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情書	ハラスマントから職員を守る大阪府民の会 代表 小林一介	<input type="checkbox"/>	—								
従来の健康保険証の復活を求める意見書採択のお願い	大阪府保険医協会 理事長 宇都宮健弘 大阪府歯科保険医協会 理事長 小澤力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				
医薬品の公的保険適用除外などの方針の撤回を求める意見書採択の陳情書	大阪府保険医協会 代表者 宇都宮健弘	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				
米の安定供給体制の確立と農業基盤強化に向けた施策の推進を求める意見書（案）	日本共産党 太子町議会議員団 幹事長 西田いく子	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				
将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書（案）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				
OTC類似薬保険適用外に反対する意見書（案）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				
大阪・関西万博工事未払い被害者への早急な救済措置を求める意見書（案）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				
最高裁判決を受け生活保護利用者及び元利用者への補償を求める意見書（案）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				
ガザ地区の人道危機を鑑み、パレスチナ国家承認を求める意見書（案）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○	<input type="checkbox"/>	—				

各議員の賛否 ○賛成 □継続審議 — 議長 ※賛否が同数のため議長採決

次の定例会は、
12月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越し
ください。
日程については、ホームページ、
広報無線でお知らせします。

本会議・常任委員会をライブ・録画配信中。
スマホ・パソコンでご覧ください。

2023年から、いつでもご視聴いただける
録画配信も行っています。

